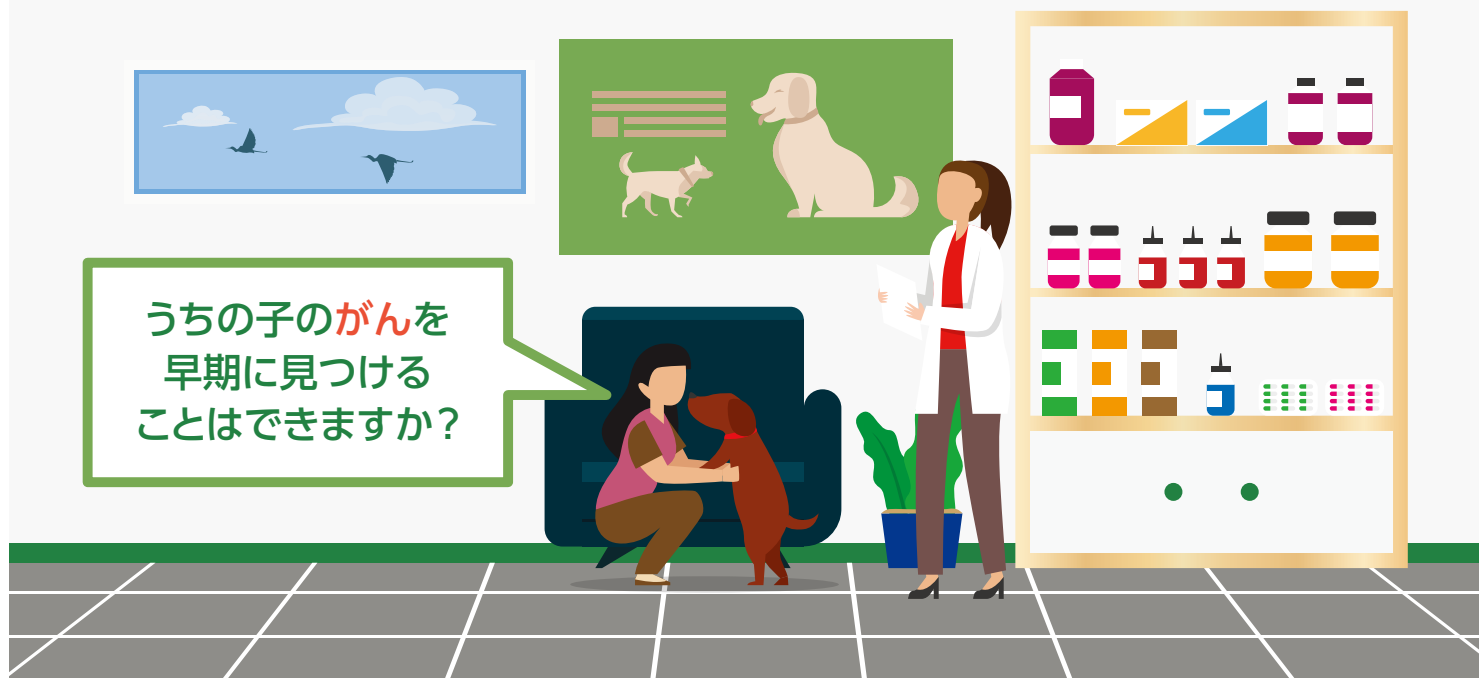




がんに対する血液検査

nu·Q
vet

Cancer Test

ニューキューベットキャンサーテスト

がん検診の重要性

人と同様、犬でもがん検診は健康維持へ重要な取り組みのひとつです。
Nu.Q® Vet Cancer Testは、重篤な症状が現れる前に測定することで、
病気に打ち勝つ可能性が最も高い時期である早期発見に役立ちます。

Nu.Q® Vet Cancer Testとは？

Nu.Q® Vet Cancer Testは、細胞が壊れると放出される物質であるヌクレオソームの血中濃度測定により、現在がんが存在しているリスクを見積もります。7歳以上のシニア犬はもちろん、腫瘍になりやすいとされる種類の若い犬にも最適です。

次のステップ

Nu.Q® Vet Cancer Testを定期的な健康チェックに取り入れることは、愛犬の健康管理の中で重要なステップです。
また、血液検査だけでなく画像検査を含むがん検診を受けることで、より多くの情報を得ることができ、治療の選択肢を広げることができます。

特に気を付けるべき人気犬種



ゴールデン
レトリバー



フレンチ
ブルドッグ



ビーグル



ラブラドル
レトリバー



バーニーズ
マウンテンドッグ



フラッドコート
レトリバー



ミニチュア
シュナウザー



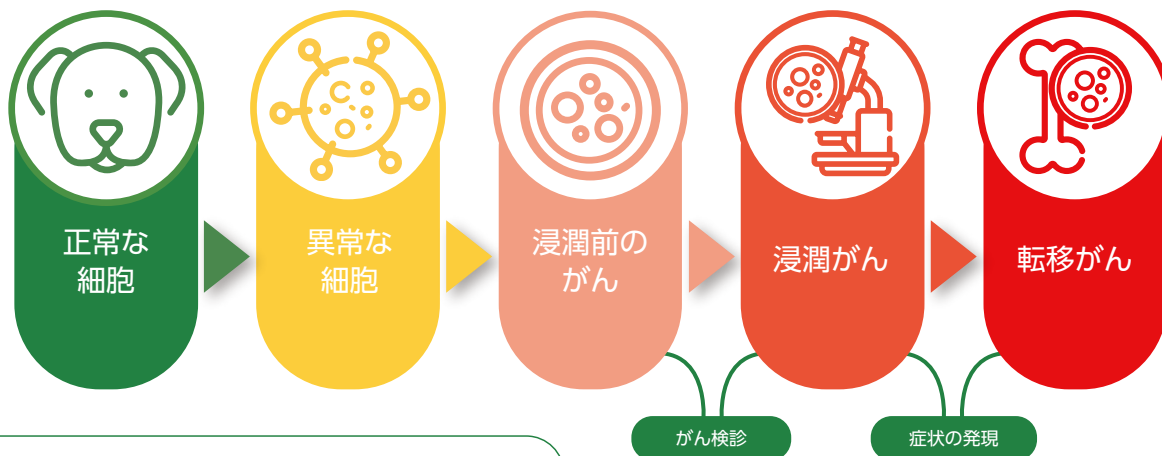
ウェルシュ
コーギー



シベリアン
ハスキー

がん検診の価値

nu·Q
vet | Cancer Test



検診は病気を早期に発見するための第一歩であり、早期に診断できればより良い治療結果を得ることができます。がんが全身に転移する前に発見するために、**がん検診**は重要な役割を果たします。

詳しくは獣医師までお問い合わせください！

キーポイント



がん検診は、**7歳以上のシニア犬**だけでなく、**犬種や遺伝によるリスクの高い若齢の犬**にも推奨されます。



Nu.Q® Vet Cancer Test は、**リンパ腫や血管肉腫**を含む全身性がんの約76%を検出します。
これらは、**犬のがん全体の3分の1**を占める主要ながんです。



Nu.Q® Vet Cancer Test だけですべてのがんを見つけることはできませんが、本検査を導入することで**早期発見・早期治療の可能性が高まります**。

がん検診を
受診して
みませんか？



結果の解釈とアクション



解釈

多くの健康な犬における結果と一致しています。

ローリスク
 $\leq 50 \text{ ng/mL}$

アクション

今後も健康を維持するため、定期的に健康診断を受診してください。

解釈

腫瘍の可能性がります。

ハイリスク
 $\geq 80 \text{ ng/mL}$

アクション

しこりやリンパ節の腫れがないか確認し、獣医師の判断により画像検査等の追加検査を受けてください。

解釈

値を上昇させ得るさまざまな要因が考えられます。

グレイゾーン
 $51-80 \text{ ng/mL}$

アクション※

絶食しており、気になる症状がない場合は、4時間絶食の上で2～4週間後に再検査してください。絶食しておらず、気になる症状がない場合は、4時間絶食の上で期間をあけず再検査を実施することを推奨します。

※ 再検査後のアクション

再検査後も上昇したままの場合は、「ハイリスク」の場合のアクションを検討します。

再検査後にローリスクに戻った場合は、6か月後に再検査をおすすめします。